

# 興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-1443 米沢市大字笹野170番地 花の里内 TEL0238-38-3328 FAX0238-38-2198 発行責任者/玉木龍晃



興道東部保育園新園舎



米沢仏教興道会 会長  
玉木 龍 晃

## 「絆」の大切さ!!

東日本大震災で、翻弄された一年。日本も私も、そして皆様も。

米沢仏教興道会正会員会から義援金三十万円を支出し、熊野龍雄師・塚本正憲師と共に山形新聞置賜支社にお届けいたしましたことを紙面を借りて報告いたします。

私の知る限りでも、多くの会員各位が被災地を訪れ、義援金や支援物資をお届けになったようです。南三陸町の親戚の曹洞宗寺院が被災し、私もお見舞いに伺いました。あたかも人生観が変わるほどの町の様相でした。

千百年前にも三陸沖に巨大地震が起こり、津波を伴う甚大な被害に覆われました。「貞観地震、貞観十一年(八百六十九)五月二十六日発生」。この貞観地震を契機に日本仏教に、植物・動物さらには国土にまで仏性を認め「草木国土悉皆成仏」という思想が生まりました。全ての繋がりをもって国家一丸となり先人たちは、困難を乗り越えてきました。流行語的な言葉として絆という言葉が取り上げられています。今、与えられた絆を大切にすることで、今、そこにある危機に対応できるはずで

## 平成24年度 事業計画(案)

4月 正会員会総会

6月9日(土) 第88回 花まつり  
■時間/14:00~ 於:米沢市市民文化会館

9月 正会員会

12月中旬 歳末助け合い募金(ののさま募金)

2月上旬 正会員会・新年会

平成25年  
3月1日 機関紙「興道会だより」第11号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

## 平成23年度 事業報告

■とき/平成23年4月14日(木) ■時間/18:00~  
正会員会総会 ..... 於:志ん柳

■とき/平成23年6月11日(土) ■時間/14:00~  
第87回花まつり ..... 於:米沢市市民文化会館

■とき/平成23年12月20日(火) ■時間/10:00~  
歳末助け合い募金(ののさま募金) ..... 於:本部プレハブ

■とき/平成24年1月25日(水) ■時間/18:30~  
正会員会新年会 ..... 於:招湯苑

■とき/平成24年2月28日(火) ■時間/15:00~  
正会員会・評議員改選 ..... 於:花の里

■とき/平成24年3月1日(木)  
機関紙「興道会だより」第10号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。



米沢仏教興道会 鈴木 良 知



社会人になって二十年あまり。学生の頃はよく歩いたものですが、年々歩くことがおっくうになりました。なので、今ではちよっとした移動にもクルマを使ってしまう。三年程前、ふとしたことがきっかけで職場迄歩いてみました。東寺町から笹野迄、往復九キロ程の道のりです。歩いてみると意外と苦にもならず、歩く楽しさを思い出しました。毎日歩くことは出来ませんが、時折歩いて通勤しています。四季折々の山や草木を眺めていますと、見る度に景色が違って見えます。諸行無常という意味が少し判った気がします。

先日歩いてたときに、こんな和歌を思い出しました。

形見とて 何か残さん 春は花

夏ほととぎす 秋はもみぢ葉

越後の高僧、良寛様が詠まれたものです。

季節は巡り、私どもは年をとってゆきます。自然の恵みを頂戴して日々暮らし、やがてはみ仏の世界に旅立ちます。そんな自然の理をしみじみ感じます。

古来、日本人は身の周りのあらゆることに神仏を見出して来ました。人が死ぬと山に帰ると申しますが、盆地である米沢は四方の山全てが先祖が宿る神様そのものであると言えます。高い山に登頂したことを「征服した」と表現する人がいますが、私にはそれが不遜に思われてなりません。

「北の国から」で主人公五郎はこう言っています。

「自然はお前らの死なない程度には充分毎年食わせてくれる。自然から頂戴しろ。」

自然というものは私どもにとって都合の良いことばかりを与えるものではないです。ですが、敬い、畏れながらもその有り難さを頂戴したものです。

# 第六回 観音霊場巡り

観音信仰は古くからあるが、衆生が日頃出会うあらゆる災難や苦難が、ただ菩薩の名前を唱えるだけで即座に救われるという、七難七生の利益の信仰は庶民の中に深く入り込んだ。

又、衆生の苦難に菩薩がさまざまな化身して示現するという三十三身説は、観音霊場三十三カ所の遍路となつて広く流行した。

この近くでよく知られているのは、最上三十三観音や置賜三十三観音霊場がある。

しかし、地元の米沢三十三観音霊場もあることを知っている方が少ないのは、残念なことである。

浅からぬ歴史のある霊場を埋もれさせるのは偲び難く、せつかくある資料を以て認識を新たにしてもらいたいと思う。

今回は五ヶ所を紹介したいと思う。



十七番 聖観世奇

花沢 常信庵

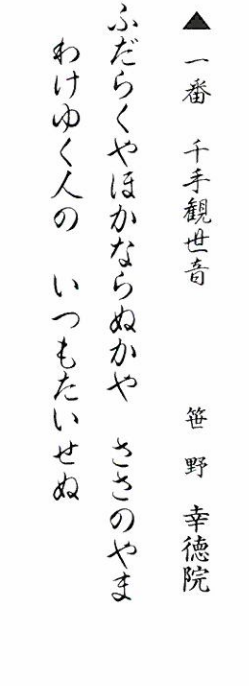
つねのぶの たてしいほりにつきをみて  
さながら のりのひかりなりけり



二十一番 聖観世奇

北寺町 透林寺

かかるよに うまれおふみのうれしやと  
おもはば たのめとこえひとこえ



▲一番 千手観世奇

笹野 幸徳院

ふだらくやほかならぬかや ささのやま  
わけゆく人の いつもたいせぬ



▲十八番 聖観世奇

鍛冶町 高国寺

わがおもふ こころのうちをみほとけに  
ただ まるかれといのるなりけり



▲二十二番 千手観世奇

北寺町 西蓮寺

ひとたびも 千手のちかいたのみなば  
にしの はちすに みをばおくらん



## 東日本大震災・被災地への義援金 寄付について

昨年三月十一日に東日本大震災が発生し、多くの尊い命が奪われました。

私ども、米沢仏教興道会でも、寄付支援することとし、去る四月二十六日(火)、玉木龍晃会長と熊野龍雄副会長で、山形新聞置賜支社に三十万円の義援金を寄付いたしましたことをご報告いたします。

御寺院様方のご協力に厚く感謝いたします。また、お亡くなりになった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

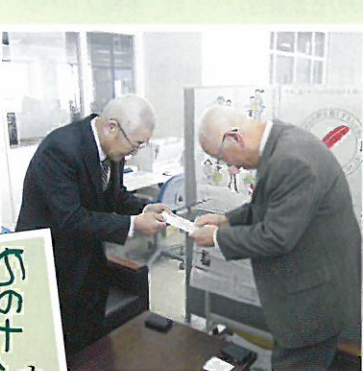


## 歳末助け合い募金 (ののさま募金) 活動の御礼について

今年も歳末助け合い募金活動(ののさま募金)にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

お陰様で、お忙しい中、十二月二十日(火)に駆け付けていただいた会員御寺院様、各保育所・老人ホームの利用者と職員の皆様の善意は合計一・二五、五九九円もの募金浄財となりました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。集まった募金浄財は、十二月二十七日(火)に玉木会長より米沢社会福祉協議会を通じて「歳末助け合い募金」に寄付いたしましたことをご報告いたします。

今後とも皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。この度は誠にありがとうございました。 合掌



## 興道東部保育園新園舎完成によせて



園長 窪 泰 道

昭和四十三年開園以来、四十二年間保育活動し卒園児も四百八十余名を数えることができる「花沢の虚空蔵様のところ」の旧園舎から歩いても十分位の場所に関係各位の御尽力にて土地を確保して頂き、平成二十三年三月十一日業者より建物引き渡し(色々な意味で忘れられない日です)十五日まだまだ続く余震の中、子どもたちと一緒に引越しをし、定員も六十名から九十名と三十名増員、平成二十三年四月一日新年度がスタートしました。

新園舎は二階建て鉄骨造りで、中央部分に、みんなが集まる遊戯室を設け、天井は吹き抜けで明るい日差しが差し込み、各保育室は遊戯室に面し、どの保育室からも集まることができます。三歳未満児保育室は、食べる、眠る、遊ぶための生活空間で、二階に行く階段には斜面も設け「ほふく階段」と呼び、日常生活の中で全身運動を楽しめるスペースがあります。幼児保育室は「こころ」をする「物をつくる」「見たり、考えたりする」ことを選び、子どもたち一人一人がそれぞれに自己を十分に発揮して遊べる空間です。厨房部

分にはランチャームを設け、食事時間に幅を持たせることで好きな時間にお腹がすいたら食べられ、友だちを誘ってテーブルにつき「いただきます」の音が響きます。園庭は五十メートル直線やトラックで全力でかけっこができ、ブランコ、滑り台等の大型遊具の他、色々な木々が茂り、池があり、竹林があり、畑もあり、菊や野菜も収穫し、子どもたちは自然に抱かれながらのびのびと生活しています。

新園舎には沢山の方々が来園されていますが、旧園舎の時のように「家庭的な雰囲気の良いですね」「子どもが生き生きしていますね」「子どもたちが落ち着いて遊んでいますね」と嬉しい言葉を頂いています。園舎が新しくなったから、何から何まで全て新しくではなく、今まで培ってきた保育を更に目標を高く掲げ、保育に臨みたいと思っています。又、子どもたち、お母さん方、保育園を利用されるみんなが、仕事が終わって園に迎えに来るとホッとす、子育ての充電ができる「もう一つのおうち」でありたいと思います。